

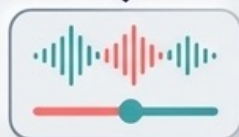
# 外国人は理解できない言語を「かわいい」と感じるのか？

音声知覚と視覚刺激を用いた多言語A/Bテストによる検証

## 検証プロセス



**Step 1: バイリンガル音声録音**  
イタリア語、タイ語、中国語のバイリンガル女性（日本語と各言語を話す）によるセリフ録音。



**Step 2: 音響的「かわいさ」の付与**  
アプリ「恋声」を使用し、声の高さ(Pitch)と性質(Formant)をアニメキャラクターに合う高くて癒した声に加工。

**Step 3: 視覚×聴覚のクロス・テスト**  
加工音声を3種類のアニメ調イラストと組み合わせ、アメリカのパネルで順序を入れ替えて提示。



🇯🇵 日本語



🌐 他言語

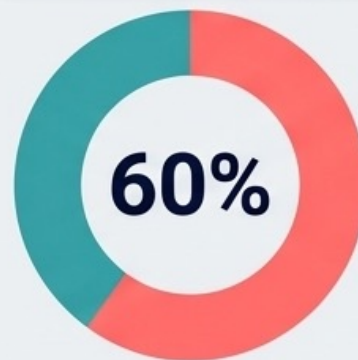


- 現象：意味が分からなくても、日本の女性配信者を「声がかawaiiから」という理由で視聴する海外ファンが多数存在。
- 仮説：女性が発する「日本語の響き」そのものが、他言語よりも音響的に「かawaii」と知覚されているのではないかと。

## 検証結果



**Participant Profile** N=38 (主に英語を母国語とする非日本語話者)  
属性：女性26名・男性12名 / 幅広い年齢層 / アニメ好き21名



### Donut Chart

全ての外国語（伊・タイ・中）と比較し、日本語の方が「かawaii」と判断した割合。

**二項検定 p=0.0001**

統計的な有意差を確認。偶然ではなく、明確な傾向として日本語が選ばれた。

## ビジネスインサイト：ローカライズ戦略への応用



### 結論:

アニメ調の視覚情報と組み合わせられた場合、言語の意味が分からずとも「日本語の響き」は他言語よりかawaiiと聞こえる可能性が高い。

### Sub vs. Dub 戦略:

海外（特にアメリカ）でのアニメ映画公開時、無理に英語の吹き替え（Dub）を作るよりも、「日本語音声+英語字幕（Sub）」のまま提供する方が、作品本来の「かawaiiさ」や魅力を毀損せず、効果的なローカライズになる可能性がある。